

《9月定例会》

8月25日から9月20日までの27日間にわたり定例議会が開かれ、行政報告2件、市長提出議案23件、議員提出議案2件を審議しました。

【審議結果】

- ・市長提出議案23件…同意・可決
認定
- ・議員提出議案2件…可決・否決

決算規模概要

予算現額	188億6332万5千円
歳入決算額	181億3664万3千円
歳出決算額	171億6486万4千円
差引残額	9億7177万9千円
実質収支	7億4549万9千円

秘書広報課

問 市のふるさと納税の収支はどうか。

答 参考の数値となるが、3年度の寄附額は3300万3千円、4年度の寄附金控除差引額は1336万5371円で、ふるさと納税事業の歳出額を減じ、地方交付税の収入から差し引かれる額を1億24万28円とし、これを加えたマイナス約1500万円が収支となる。



道路課

問 側溝蓋掛け事業費約840万円に対し支出済額が約785万円である。予算を執行するにあたり、ほかの路線についても工事を行うことができたのではないかと。

答 次に検討している路線については予算が見合わなかった。今後は不用額を残さないよう検討していきたい。

令和3年度

一般会計歳入 歳出決算をチェック

しっかりと



財政課

問 以前、財政課が把握していない各部・各課が所有している車両があるとのことだった。全台一括で管理、少なくとも把握すべきと考えるが、できているのか。

答 財政課以外で所有している、その課特有の事業で必要となる車両の台数も把握している。財政課管理の公用車は、削減の方向で動いている。

企画政策課

問 白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト事業で日本サッカー協会と連携したとのことであるが、具体的な内容は何か。

答 日本サッカー協会による「夢の教室」を実施した。元プロサッカー選手をはじめ、様々なアスリート等に講師になってもらい、市内の小学5年生を対象にオンラインで70分程度の特別授業を実施した。

健康増進課

問 子宮頸がんワクチンの任意接種の費用助成が始まった。HPVワクチンを全面に出しているが、「子宮頸がん予防ワクチン」と市民にわかりやすいようにしてほしい。

答 市民にわかりやすい表記にする。

学び支援課

問 篠津の青雲寺で古い仏像が発見されたとのことであるが、策定された文化財保存活用地域計画とは関連しているのか。

答 青雲寺の仏像調査は、文化財保存活用地域計画に則って実施したものである。発見された仏像は、平安時代末期に製作されたものと推定される。今後の措置については、文化財保存活用地域計画に基づき、市指定文化財として新たに指定を行うなど、保存・活用を行っていく。

総括質疑

問 決算は、市の行政の成果である。については、行財政改革推進の実施目標を余裕でクリアしている状況で、市の現状と行財政改革に対する理解を市民に深めてもらい、そして、職員が共通の認識をもって意識改革を行えたとするには無理がある。行財政改革推進が目指す、財政の健全性を担保する上で、決算時にどのような数値等を示すのが妥当と考えているのか。

答 行財政改革方針における実施目標は、これまでの本市の財政運営を踏まえ、今回目標に掲げた4指標を確保・堅持すれば、将来にわたり予算が編成可能であるとの考えの下、設定したものである。しかし、職員が共通認識を

持って意識改革を行うために、同方針の実施目標とは別に、職員にとってわかりやすい指標・数値目標の設定を検討していきたい。

問 歳出の義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、2年度より上回った。要因と今後の見通しは。

答 3年度の増加要因は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業の皆増や、子育て世帯等臨時特別支援事業に係る経費の増加などにより、扶助費が大きく増加したためである。扶助費は、生活支援が必要な方の増加に伴い、更に増えるものと考えられ、今後も、義務的経費の割合が市の財政に大きな負担になるものと想定される。市では、財源の確保や既存事業の見直しなどを進め、健全な財政運営に努めていきたい。

討論

反対 市は、消費税の引下げを国に対し、要望すべきだ。また、エネルギー政策の課題に対し、市の取組は遅れていると指摘する。マイナンバー制度に対しては、安全性の担保や費用対効果を考え対応すべきだ。

賛成 賛成討論なし。

認定